

ペン

マララさん，という女性を知っていますか？

マララ・ユスフザイ (1997 -)
(パキスタン, イギリス)

2014 年のノーベル平和賞を受賞した人です。

と聞いて，思い出す人も いるかも知れませんね。

『ワン チャイルド』 『ワン ティーチャー』 『ワン ペン』 『ワン ブック』

彼女が発言した，この 4 つの言葉が，私には印象的でした。

『1 人の子供』 『1 人の先生』 『1 本のペン』 『1 冊の本』

という意味ですが，とても大きな彼女の願いが込められた言葉です。

これらに，何ができると，マララさんは言っているのでしょうか？

彼女は，

『世界を変えることができる』

と，言っています。

『世界を変える』ということは，

『キャン チェンジ ザ ワールド』

その前に『自分を変える』ということです。

自分を変えるということは，自分を成長させるということです。

自分を成長させたい，と思う気持ちは，『学びたい』という心のことですね。

この心は，人が誰でも持つ気持ちです。

その気持ちを否定して，取り上げては ならないですね。

女だから，子供だから という理由で，「教育など必要ない」と断じる権威は，

あっては ならないですね。

その後、彼女はベルリン大学へ向かいました。

ワイエルシュトラスという有名な先生に、勉強がしたいと願いました。

まだ、ベルリン大学も、女性の入学を認めていませんでした。

ワイエルシュトラスは「女性だからダメです」と言うのも、可哀相に思いました。

そこで彼女に、家で解いてみなさいと、いくつかの『難しい問題』を出しました。

ワイエルシュトラスは、うまく断わりたかったので、
「このくらいの問題が解けないようでは、大学に入学できませんよ」
という意味で、『普通の学生には解けない問題』を出したのです。

でも、彼女は数日後、出された問題全てを解いて、再びやって来たのでした。

これが切っ掛けで、ワイエルシュトラスは、彼女を弟子にしたといわれています。

(しかし、ベルリン大学への入学は、叶いませんでした)

このくらいの時期が、1870年ころです。

彼女が20才前後のころです。

ワイエルシュトラスは50才代の半ばころです。

余談ですが、

ワイエルシュトラスは、彼女を弟子にした後に、

彼女が結婚していることを知って、大ショックだったとのこと。

ワイエルシュトラス (ドイツ, 1815 - 1897)

カール・テオドル・ヴィルヘルム・ワイエルシュトラス
Karl Theodor Wilhelm Weierstrass

ほんとう
本当の

「詩の分からぬ者は、数学者ではない」

彼の言った有名な言葉です。

ご じゅうすうねん かのじょ めいせい ぼこく し わた
その後の十数年，彼女の名声は，母国ロシアにも知れ渡っていたにもかかわらず，
だいがく かのじょ う い じょせい りゆう
ロシアの大学は，彼女を受け入れませんでした。女性だという理由で。

こと じょせいさべつ つよ のこ
殊に，ロシアやドイツでは，女性差別が強く残っていた，といわれています。

かな かのじょ ぼこく ち のぞ しょく つ
悲しいことに，彼女は母国ロシアの地では，望む職に就けませんでした。

- - - - -

けっきょく かのじょ だいがく せんせい
結局，彼女はスウェーデンのストックホルム大学の先生になりました。

わか ひ おな し もと まな
若き日に同じ師（ワイエルシュトラス）の元で学んだミタク=レフラーに

まれ
招かれたのです。

ミタク=レフラー（スウェーデン，1846 - 1927）

マグナス・グスタフ・ミタク=レフラー だんせい
Magnus Gustaf Mittag - Leffler （男性です）

すうがく ただい こうけん ひと のち だいがく がくちょう
数学に多大な貢献をしてきた人です。後に，ストックホルム大学の学長になりました。

だいがく せんせい さい
やっと，大学の先生になれました。34 才。

とき だいがく すうがく おし じょせい せんせい せかい かのじょひとり
その時『大学で数学を教える女性の先生』は，世界で彼女 1 人でした。

きょうじゆ さい
そして，教授になりました。39 才。

ぜんぶんや がくもん かのじょ れきしじょう にん じょせい だいがくきょうじゆ
全分野の学問で，彼女は歴史上 3 人めの女性の大学教授です。

さい かのじょ かぜ な
41 才で，彼女は風邪にかかり，亡くなってしまいます。

かのじょ しゅうせい ち
彼女の終生の地，スウェーデンのストックホルムと，
へいわしょう じゆしょう ち
マララさんが平和賞を受賞した地，ノルウェーのオスロは，
しょう じゆしょうしき おこな ち ゆうめい
ノーベル賞の授賞式が行われる地としても有名ですね。

がくもん せかい じょせいさべつ
学問の世界でさえ、女性差別があったのですね。

すこ あと じだい
ソフィア・コワレフスカヤの少し後の時代、

エミー・ネーター (ドイツ, アメリカ)

アマリエ・エミー・ネーター
Amalie Emmy Noether

エミー・ネーター という女性も, 差別に苦しめられました。 (1882 - 1935)

じょせいさべつ じんしゅさべつ う
この人は、女性差別のみならず、人種差別も受けました。

けいさん かんが かつ
「計算」よりも、「考え方」が
さんすう すうがく たいせつ
算数(や数学)では、大切ですよ。
い ひと
ということを行った人

けい だいがく
ユダヤ系であったために、ドイツで大学をクビになりました。

どくさいしゃ じん さべつ ぎゃくたい
ヒトラーという独裁者が、ユダヤ人を差別 (というか虐待) したためです。

ご うみ こ だいがく うつ ねんほど な
その後、海を越えアメリカの大学に移ったのですが、2年程で亡くなりました。

だんじょ じんしゅしゅうきょうくに ちが い すうがく せいしん はん
男女, 人種, 宗教, 国の違いなどを とやかく言うのは、数学の精神に反する

すべ さべつ にく いじん
といい、全ての差別を憎んだ偉人がいます。

かれ ひと
その彼は、ダフィット・ヒルベルト といいます。ドイツの人です。

すうがく さんすう ひと ぶんかぜんぶ ひと くに
『数学 (や算数) にとっては、人の文化全部が、1つにまとまった国なのである』

い
とも言っています。

りょうり こっきょう な き
「料理に国境は無い」も、聞くよね。
びょうどう おい おい
平等に、美味しいものは美味しいですね。

すうがく こっきょう な
『数学に国境は無い』と、ということなのですね。

ことば せいべつ ねんれい ちが びょうどう なぞ いど がくもん
言葉や性別, 年齢が違っても、平等に 謎に挑むことができるのが、この学問です。

ダフィット・ヒルベルト
David Hilbert (ドイツ, 1862 - 1943)

げんだいすうがく ちち よ
現代数学の父と呼ばれています。

ばんねん こどく
でも、晩年は、孤独でした。

じん さべつ けんりょく
ユダヤ人を差別する権力によって、

だいがく はくがい
ゲッチンゲン大学の同僚たちが迫害され、
たこく い どうりょう
他国へ行ってしまったからです。

がくもん とき
『学問』を『ペン』という時があります。

げんろん いみ も
『ペン』は『言論』という意味も持ちます。

けん つよ
『ペンは剣よりも強し』

へいわ がくもん
ですが、平和があつてこそその学問ですね。